

- ② 高齢者雇用への補助を増額
- ③ ファミリー・サポート・センターの募集
- ④-⑤ **特集** 厚木の観光地
この夏、七沢へ
- ⑥-⑧ 街の話題/コラム/お知らせ



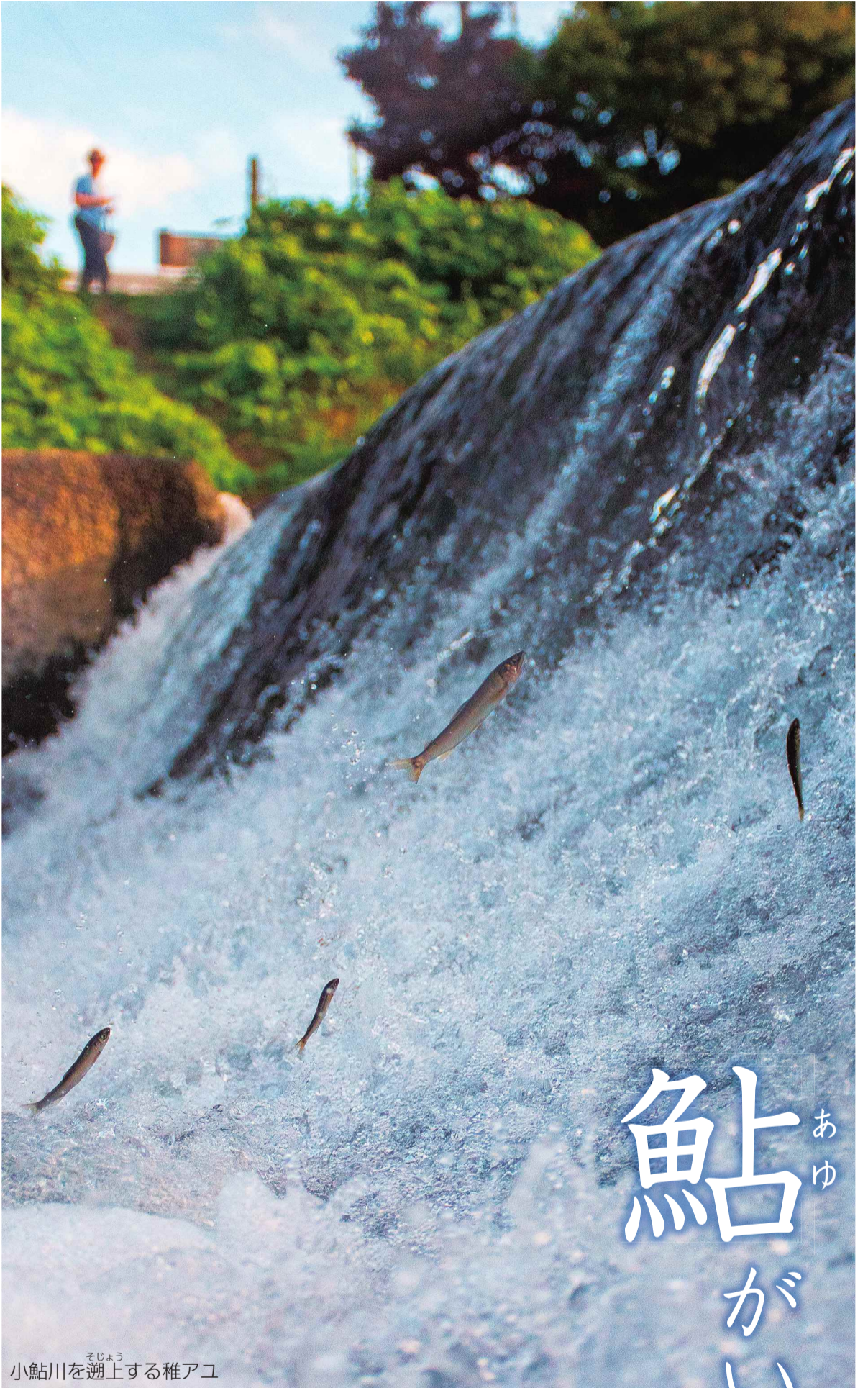
アユの塩焼きを食べる子どもたち



相模川で釣りを楽しむ太公望



アユが描かれた歩道のパネル



小鮎川^{そじょう}を遡上する稚アユ

鮎^{あゆ}が いるまち

しづきが上がる水面から、勢いよく稚アユが飛び出します。せきを越えようと流れに逆らい、小さな体を目いっぱい使って上流を目指します。相模川は「鮎の川」とも呼ばれる、全国でも有数のアユ釣りの名所です。初夏になると解禁日を待ちわびていた太公望たちが竿を振る光景は、厚木の夏の風物詩となっています。

古くからアユ漁が盛んだった厚木市。アユは市章のモチーフや名産品にもなり、市と深い関わりがあります。「あつぎ鮎まつり」もその一つ。大正初期に、相模川の川開きで実施した花火大会が始まりです。その後、盆の納涼とアユ漁解禁への感謝を兼ね、1948年に初めて「鮎まつり」が開催され、今も続いています。

まちのシンボルとして根付くアユ。昔も今も変わらず親しまれています。

☎ 観光振興課 ☎ 225-28020

第77回 あつぎ鮎まつり

4年ぶりの2日間開催。
厚木の夏を楽しみませんか。

8月5・6日

祭りの情報は
市HPに掲載▶



Zoom Up

企業の技術継承や人材不足の解消に 高年齢者雇用への補助を増額

市では、企業の人材不足解消や技術の継承を支援するため、県内で唯一、高年齢者を継続して雇用する企業に補助金を交付しています。今年から、市内在住者を雇用する際の補助を1人当たり3万円から5万円に増額。働く意欲のある高年齢者が活躍できる場の創出を支援します。

高年齢者雇用安定法が2021年に改正され、定年年齢の引き上げや70歳までの継続雇用など、就業機会の確保が雇用主の努力義務となりました。これが受け手では、県内で初めて高年齢者雇用への補助金を導入し、技能や知識を持った高年齢者の雇用を促進。さらに今年からは、市民を雇用した際の補助を増額しました。

雇用1人当たり5万円

対象は、66〜70歳を1年以上雇用する中小企業（左欄参照）。市内在住の



豊富な経験を生かし若手社員の育成にも携わる

8月中旬に申請を 高年齢者継続雇用 奨励補助金

《対象》8月1日現在に①1年以上継続して事業を営む②2024年3月31日時点で66歳以上70歳以下の方を1年以上継続して常用雇用③市税を完納一の全てを満たす従業員数300人以下の市内中小企業
《補助額》1人5万円（3カ月以上継続して市内在住）または1万円（市外在住）。1企業3人まで

市HPにある申請書に必要書類を添えて、直接または郵送で8月31日（消印有効）までに〒243-8511 産業振興課 ☎225-2830へ。



詳細はこちら

方1人につき5万円、市外在住の場合は1万円を補助し、1企業3人まで申請できます。制度開始から3年間で189件、378人分を補助。補助を受けた企業へのアンケート調査の結果などを踏まえ、市内在住者への補助を2万円増額しました。

障がい者雇用や奨学金返済にも
高年齢者の他にも、雇用に関する助成金を設けています。障がい者を雇用する企業には1人当たり6万円の障がい者雇用奨励交付金を交付。さらに奨学金を返済しながら市内で働く方への助成金（下欄参照）を設けるなど、雇用を後押ししています。

市では今後も、効果的な補助制度を通して誰もが働きやすいまちの実現を目指していきます。

産業振興課 ☎225-2830



予定申請が必要になりました

勤労者 奨学金 返済助成金

奨学金を返しながら市内企業で働く皆さんを支援するため、助成金を設けています。来年1月の本申請に先立ち、予定申請が必要です。 ☎産業振興課 ☎225-2830

《対象》①奨学金を使い大学などを卒業②卒業して5年以内③助成金交付初年度の3月31日時点で30歳以下④奨学金の返済日に、市内企業などで常勤の従業員として採用されてから7年以内⑤2024年1月1日時点で市内に住民登録（予定）がある⑥自ら奨学金を返済⑦類似の補助制度の補助を受けていない⑧市税を完納している一の全てを満たす方

《助成額》23年1〜12月に返済した奨学金の2分の1（上限12万円）

9月1〜30日に電子申請システムで予定申請。本申請期間は1月4〜31日（予定申請をした方も改めて本申請が必要）。

電子申請システムはこちら▶



障がい者の安定した雇用を確保

障がい者 雇用奨励 交付金



同僚と手話で会話しながら業務を進める

障がい者を雇用する市内中小企業へ補助金を交付します。 ☎産業振興課 ☎225-2830

《対象》8月1日現在に①市内で1年以上継続して事業を営む②障がいがある方を1年以上継続して常用雇用③障害者雇用率を達成④市税を完納一の全てを満たす従業員数300人以下の市内中小企業

《補助額》1人6万円（3カ月以上継続して市内在住）または5万円（市外在住）

市HPにある申請書に必要書類を添えて、直接または郵送で8月31日（消印有効）までに〒243-8511産業振興課へ。



清掃業務などを担当

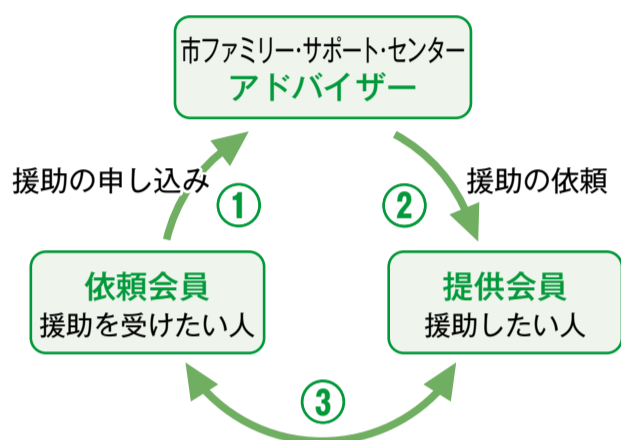


詳細はこちら



保育施設から迎えた子どもたちを自宅で預かる

ファミリー・サポート・センターの仕組み



事前打ち合わせ・援助の活動・報酬の支払い

愛TV 8/1~

提供会員を募集

地域で育児の手伝いをしていただける提供会員を募集します。

《対象》市内在住で子どもの一時的な預かりや、保育施設への送迎などができ、講習会を受講できる方。

☑子育て支援センターや公民館にある申込書と写真2枚を、8月25日までに直接ファミサポ事務局☎225-2933へ。



講習会

《日時》9月13日 9時45分～16時45分
14日 9時30分～17時

《場所》あつぎ市民交流プラザ
※託児あり（1歳以上5人。8月25日までに要予約。先着順）



詳細はこちら

援助を受けたい方は依頼会員の登録を

《対象》市内在住で生後3カ月～小学6年生の保護者

☑子育て支援センターや公民館にある申込書と保護者の写真2枚を、直接ファミサポ事務局☎225-2933へ。

妊産婦を支援

ほっとタイムサポーター

《対象》市内在住で、昼間に育児・家事を支援する家族がいない妊産婦のうち①医師から安静が必要と診断された妊婦②出産後6カ月（多胎出産は1年）以内のいずれかに該当する方

《利用時間》

9～17時のうち2時間（1日1回まで）

- ・出産した方に2時間分の無料券を配布
- ・利用料金の3分の1を市が助成



詳細はこちら

Zoom Up

地域全体で子育て世帯を支える ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センター（以下ファミサポ）は、子どもの預かりや送迎などで子育て世帯を支える仕組みです。子育てしやすいまちであり続けるよう、会員登録し育児をサポートしませんか。

子育て支援の輪を広げる

ファミサポは、仕事と子育ての両立を後押しするため、1994年から全国的に始まった取り組みです。現在でも、地域で子育て世帯を支える手段の一つとして、大切な役割を担っています。市内では、子育て支援センターがアドバイザーとなり、援助を受けた人、サポートしたい人をつないでいきます（左図参照）。

市内では昨年、ファミサポを通じて約3200件を超える援助が実施されました。最も多かったのは、習い事への送迎で630件。保育所・幼稚園、学童保育への迎えなどの援助を希望する子育て世帯も増えています。こうした支援の希望に応えているのが「提供会員」の皆さんです。4月時点で約330人が登録し、市内全域で活動しています。

提供会員に登録し17年目になる坂口真美さん（長谷）は「私の子どももたくさんの方のサポートを受けてきたので、何か恩返ししたいと思いはじめた。預かる子どもたちはみんなかわい

安心して育児ができる環境を

し、保護者の皆さんの力になれていると感じるとうれしい。できるだけ長く続けていきたい」と話します。

市では、援助の希望を多くかなえられるよう、受け皿となる提供会員を募集（左欄参照）。地域の皆さんの協力を得ながら、子育てしやすい環境を整えています。

市では、妊産婦を対象に育児を支援する「ほっとタイムサポーター」（左下欄参照）も実施するなど、出産後から切れ目なくサポートできる仕組みを整えています。アミューあつぎにある子育て支援センター「もみじの手」は、年間に延べ6万1000人以上の利用があり、子どもたちや保護者同士が交流しながら、保育士と共に育児の悩みや経験を共有できる場所となっています（下欄参照）。

子どもたちは、まちの未来を担う大切な存在です。子育て世帯を市や地域みんなで支え、安心して子どもを育てられるまちにしていきたいでしょう。

☑子育て支援センター☎225-2922



アミューあつぎ8階にあるサロン室

子育て支援センター「もみじの手」

センターでは、相談やサロン室での交流など、子育てに関わる方をサポートしています。気軽に利用してください。

☑子育て支援センター☎225-2922

講座や移動子育てサロン、出張相談などセンターの取り組みの詳細はこちら▶



◆サロン室

未就学児と保護者が自由に遊べて交流できる場所です。

時間 9～16時

◆育児相談

保育士が、子育ての悩みや疑問、不安などの相談に応じます。

時間 8時30分～17時15分

子育てアドバイザー講習会

地域の子育て支援にボランティアで携わってみませんか。

日時 9月13日 9時45分～16時45分
14日 9時30分～17時

場所 あつぎ市民交流プラザ

内容 子どもとの関わり方を学ぶ

対象 市内在住で子育て支援に携わりたい方20人。託児あり（1歳以上5人。8月25日までに要予約。先着順）。別途保育所実習（半日）が必要。全日程修了者に認定証を交付

☑8月25日までに子育て支援センターへ。



活動は子育て支援センターでの支援など



温泉の温度を確認、お客さんを迎える準備を整える佐藤さん



七沢でやってみたいことを話す萩山さん(左)と佐藤さん



厚木のあゆを使った料理



森のよふかしの様子

特集 厚木の観光地

この夏、七沢へ

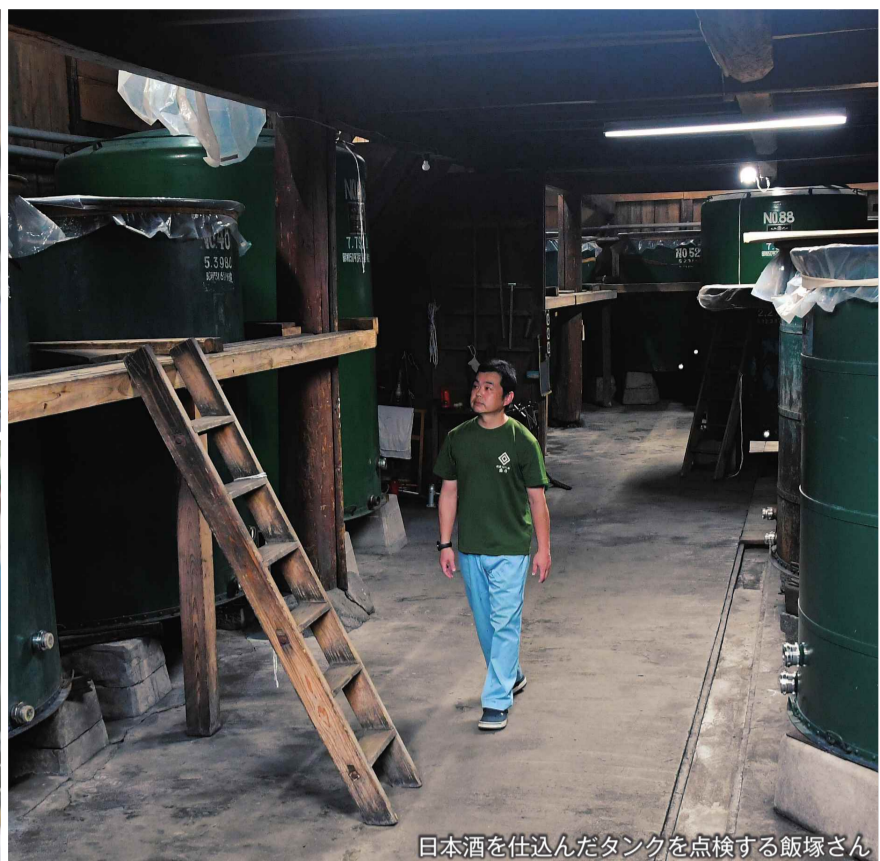
東丹沢の麓、自然・温泉・食文化がそろった七沢。観光に関わる人の思いを通じて、魅力を見つめ直します。 観光振興課 ☎225-2820



あつぎOECフードにも登録される大吟醸



瓶詰めでは1本1本を自視鏡で検査



日本酒を仕込んだタンクを点検する飯塚さん

自然の恵みと新たな視点

厚木の奥座敷・七沢温泉は、江戸時代から湯治場として親しまれてきました。現在6軒が、美肌の湯と言われる泉質を生かした、温泉宿を営んでいます。佐藤さんが勤める七扇もその一つ。食事や温泉を楽しむに多くのリピーターが訪れます。

佐藤さんも、学生時代にアルバイトをしていた時の楽しさが忘れられず、半年前に横浜での営業職を離れて戻って来ました。「都会と違い、生活の中に緑が溶け込んでいるのが七沢の

思いがちな温泉郷

七沢温泉 (旧盛楽苑)

小鳥のさえずりが聞こえる朝の浴室。丹沢の森を抜けてきた風が、湯の上を静かに流れていきます。「七沢を訪れる方の多くは、自然を楽しむにきています。七沢温泉にある旅館・七扇、佐藤友紀さん(26・鷺尾)は、客室の清掃や受付の準備をしながら、お客さんの到着を待ちます。



七沢観光スポットMAP

- ①ツリークロス アドベンチャー
総延長700mのジップラインやアトラクションが楽しめる。
- ②日帰り温泉
高濃度のアルカリ泉はとろみがあり、美肌の湯として知られる。
- ③七沢森林公園
県内最大級の都市公園。散策路で、気軽に自然を満喫できる。

東丹沢の名水と越後杜氏

黄金井酒造は1818年創業の、長い歴史を持つ市内唯一の造り酒屋です。創業当初から敷地内に井戸を掘り、東丹沢の伏流水をくみ上げて酒造りに生かしてきました。八代目当主の黄金井康巳さん(70)は「水と米、そして人が酒の味を生み出す。ずっとそれを大切にしている」と強いまなざしで語ります。黄金井酒造では26年前まで、9月から8月ほど、酒造りが

人と自然が生む七沢の酒

黄金井酒造

土壁に囲われた蔵は、夏でもひんやりとした空気に包まれ、ほんのりと酒の香りが立ち込めています。黄金井酒造の杜氏・飯塚栄治さん(49)は冬に日本酒を仕込んだタンク一つ一つに目を配り、異常がないか点検して回ります。味や品質を保つために、欠かせない作業です。「酒造りは、こうじ菌や温度など見えないものを扱う仕事」と真っ直ぐな表情で話します。



地域での農作業にも参加

盛んな新潟県から招いた杜氏(越後杜氏)が、日本酒を仕込んでいました。杜氏は、蔵元と共に酒造りの計画を立て、仕込みを指揮する最高責任者です。しかし、高齢になり長くは続けられないと越後杜氏から申し出があり、自社で杜氏を育てるため希望者を募りました。その時に応募してきた一人が飯塚さんです。

飯塚さんは、越後杜氏から5年間、酒造りの基本を学びました。初めて社員だけで仕込みを任された年、試行錯誤しながら造った日本酒は、全国新酒鑑評会で金賞を受賞しました。「越後杜氏に『もう大丈夫』と言われていたけれど、本当にできるのか不安だった。結果を知ってうれしかったし、自分たちでも

「一つの旅館だけでは、有名な観光地には劣ってしまふ。みんな力を合わせ魅力を高めた。萩山さんはこうした思いを持ち、地域とのつながりを大切にしています。3年前には、旅館と黄金井酒造、飲食店などと自然の中で食事を楽しめるイベント「森のよふかし」を開催。地元の食材を使った料理を招待客20人に振る舞いました。「コロナで立ち止まっていたけれど、また企画したい」と力を込める萩山さん。従業員たちも「地元の方と交流できるイベントはワクワクする」と話します。古くから、多くの人を引き付ける七沢温泉。癒やしと安らぎを与えてくれる湯治場は、多くの人の思いでつながっています。

魅力が集う観光地に

「一つの旅館だけでは、有名な観光地には劣ってしまふ。みんな力を合わせ魅力を高めた。萩山さんはこうした思いを持ち、地域とのつながりを大切にしています。3年前には、旅館と黄金井酒造、飲食店などと自然の中で食事を楽しめるイベント「森のよふかし」を開催。地元の食材を使った料理を招待客20人に振る舞いました。「コロナで立ち止まっていたけれど、また企画したい」と力を込める萩山さん。従業員たちも「地元の方と交流できるイベントはワクワクする」と話します。古くから、多くの人を引き付ける七沢温泉。癒やしと安らぎを与えてくれる湯治場は、多くの人の思いでつながっています。



不動尻周辺のハイカーの受け入れ環境の保全を進める

七沢・飯山地区の魅力づくりを支援

■観光資源創出事業補助金
地域の魅力を発信するイベントなどの実施を補助します。
《補助額》対象経費2分の1以内(イベント=上限10万円、モニタメントの設置など=上限30万円)
《対象》①複数の事業者などで組織する団体②飯山・七沢地区で初めて実施③継続した運営が見込まれる④類似の補助金を受けていない—の全てを満たす事業

■キャンプ場等誘致事業補助金
キャンプ場やレジャー施設の開設に必要な費用の一部を補助します。
《補助額》対象経費の3分の1以内(上限500万円)
《対象》①法人が小峠・玉川地区で新規にキャンプ場、露天風呂、屋外サウナ、足湯を開設②関係法令などの要件を満たす③継続した運営が見込まれる④日帰り客が利用可能(キャンプ場を除く)⑤類似の補助金を受けていない—の全てを満たす事業。
■いずれも観光振興課へ事前相談後、申請書などを提出。

観光地としての魅力を高めるため、環境の整備を進め、イベントの開催などを支援します。 観光振興課 ☎225-2820

誰もが楽しめる場所に

七沢もりあげ隊 七沢観音寺 林 慈照さん(53)

歴史ある寺や修験者も通った豊かな自然など、知られていない七沢の魅力を発信したいと思い、地元旅館や伝統芸能団体の人たちと一緒にもりあげ隊を立ち上げました。7月には、補助金を活用して、地元の人も遊びに来た人も楽しめる盆踊りのイベントを企画しました。これからの力を合わせて七沢の魅力を発信していきます。

地元の魅力を再発見

松蔭大学 観光メディア文学部長 古賀 学さん(74)

観光の活性化には、経済の広がりだけでなく、自然や文化財、地場農業の振興など多くのメリットがあります。厚木市は、高速道路やインターチェンジが多く、首都圏からの交通利便性も良いため、魅力高い観光地となる環境が整っています。多くの人に足を運んでもらうには、地域や行政、団体によるイベントの開催や施設整備などの取り組みと併せ、温泉や食文化、自然など今ある観光資源を生かし、魅力を知ってもらうことが重要です。そのためには、市民の皆さんが市内の観光地に訪れ、魅力を再発見することが大切なのではないでしょうか。

「自分の造りたい酒に合わせ、もとななる趣を作りなさい」。越後杜氏の教えは、今も飯塚さんの中に生きています。

地域とのつながりを大切に

自社に杜氏がいることで、黄金井酒造では年間を通して酒造りができるようにしました。ビールや焼酎、クラフトジン、本みりんなど、時代に合わせた種類を増やし、今では8種類の酒類製造免許を持っています。その技術は、地域振興にも生かされています。

七沢観光協会の会長も務める黄金井さんは、いつも地域のことを考え、つながりを大切にしています。

「自分の造りたい酒に合わせ、もとななる趣を作りなさい」。越後杜氏の教えは、今も飯塚さんの中に生きています。

「自分の造りたい酒に合わせ、もとななる趣を作りなさい」。越後杜氏の教えは、今も飯塚さんの中に生きています。

「自分の造りたい酒に合わせ、もとななる趣を作りなさい」。越後杜氏の教えは、今も飯塚さんの中に生きています。

「自分の造りたい酒に合わせ、もとななる趣を作りなさい」。越後杜氏の教えは、今も飯塚さんの中に生きています。



地元旅館に届けられる地酒

若者の視点でまちの魅力を発信

市内の大学生を「あつぎにぎわいアドベンチャー隊」に任命



これまでに延べ420人の学生が活動

市内5大学の学生で組織する「あつぎにぎわいアドベンチャー隊」の任命式を6月に開催しました。21人のメンバーがイベントの企画・運営やSNSでの魅力発信などでまちの活性化に取り組みます。

アドベンチャー隊は、市内の商店会関係者などでつくる「まちなか活性化プロジェクト」の発案で毎年メンバーを入れ替えながら活動。昨年度は市内の店舗や景色、話題のスポットをSNSで発信した他、クイズラリーなどを企画・運営しました。

参加して3年目になる岩淵広虎さん（東京工芸大学4年）は「今年アドベンチャー隊が新たに発案したイベントを開催したい」と力を込めました。

犯罪や暴力のない明るいまちへ

社会を明るくする運動・暴力追放キャンペーンの啓発活動を実施

本厚木駅周辺で市や厚木警察署、厚木地区保護司会、防犯協会などのメンバーら250人が啓発活動を実施しました。

活動は、防犯や非行防止に取り組み団体が安心・安全なまちの推進のために実施。のぼり旗や横断幕を持ち、歩行者に「暴力追放」や「社会を明るくする運動」などと書かれた啓発物品を手渡しました。



啓発物品を手渡す参加者



平和への思いを後世に

相川中学校で戦争体験講話を実施

6月、語り部による戦争体験講話で全校生徒271人が平和の重要性を学びました。講話は、友好都市の沖縄県糸満市で戦争体験を若い世代に伝えていく久保田曉さん（78）を招いて実施。戦時中の写真を使いながら、戦争経験者から聞いた当時の人々の様子を伝えました。



妻田小学校でも講話を実施

みんなで考える脱炭素の暮らし

「あつぎ気候市民会議」が始動

会議は、市民協働提案事業として「あつぎ市民発電所」と市が実施。参加した宮田晃さん（52・妻田西）は「物流による排気ガスが話題になっているので、環境問題を学ぶため参加した。専門家の話やたくさんの方の意見が聞け、改めて危機感を持った」と真剣な表情を見せました。今後、会議や意見交換などを重ね「脱炭素市民アクションプラン」をまとめていきます。



活発に意見を交わす参加者

久保田さんは「戦争はあってはならないこと。私たちは今の平和を守りながら生きる必要がある。戦争の歴史を知り、今できることは何かを考え、行動してほしい」と呼び掛けました。子どもたちは「毎日平和に生きられるのは幸せなことだと感じた」「今日聞いた話を周りの人に伝えたい」などと話していました。

脱炭素社会に向けて市民主体で話し合う「あつぎ気候市民会議」を厚木シティプラザで開催しました。10〜70歳代の市民47人と傍聴者23人が参加。専門家による脱炭素に関する講義を受けた後、意見を交わしました。

第5回 みんなで目指そう カーボンニュートラル

カーボンニュートラル（CN）とは、地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出を減らし、植林や森林管理などによる吸収量を増やすことで、実質ゼロを目指す取り組みです。連載では、今日から挑戦できる取り組みを紹介します。

今月の挑戦 涼しさをシェアしよう



あつぎ郷土博物館、図書館などでは、涼しく学べる

暑い夏は熱中症予防のため、エアコンをつけて家で過ごす時間が長くなります。一部屋に家族が集まれば涼しさをシェアできて省エネにつながります。

公共施設や商業施設などに出掛ければもっと多くの人と涼しさをシェアでき、省エネ効果も高まります。

楽しみながら省エネにチャレンジしてみませんか。

CNプラットフォームでは、シェアリングの情報をより詳しく掲載しています。

環境政策課 ☎225-2749



自治会長に自ら施策を説明

6月から、自治会長の皆さんに市の政策をお伝えしながら地域の課題などを語り合う、タウンミーティングが始まっています。8月末まで市内15地区の公民館を巡り、約200人の皆さんと、子育て支援をはじめ、教育、福祉、観光・農業振興、防災などをテーマに話し合います。

各地を回る中で、私が改めて感じているのは、皆さんそれぞれに強い地域への愛情をお持ちだということ。自治会加入率の低下、学区再編への思いなど、地区ごとに抱えている課題はあります。時には厳しい意見を頂くこともありますが、愛の裏返し」と言うように、地域、そして厚木を大切に思うからこそその言葉だと受け止めています。こうした課題一つ一つに対し、丁寧に皆さんと共に向き合っていくこそが、厚木をより魅力的なまちに磨き上げていくと私は信じています。

タウンミーティングは今後、子育て世代や市内企業で働く方々など、幅広い層と実施していきます。市長に就任してから、自治会、スポーツ、文化芸術など、さまざまなコミュニティの皆さんを訪ね、生の声を聴く機会を頂いています。皆さんから受け取った「あつぎ愛」を活発に、誰もが誇れるまちをつくっていきます。

タウンガイド

8月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

9月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

☑=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号
 ㊚=ファクス番号 ✉=Eメール HP=ホームページ
 📄=講座予約システム(インターネットで申し込み可)
 愛TV/8/1~ =市広報番組あつぎ愛テレビ
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

あつぎのしゃしん。



「夕暮れの空」

#7月6日撮影
 #小鮎川
 #大山
 #niceatsugi
 市公式インスタグラムで公開中



平和のための展示会

市民の皆さんが平和への思いを描いた絵やメッセージ、戦争の様子を記録したポスターや資料などを展示します。
 ☎福祉総務課 ☎225-2200

《日時》8月3~7日 10~16時

《場所》あつぎ市民交流プラザ

☎不要。



入場無料



厚木中央公園にある二世クスノキ

被爆樹木二世クスノキ

親木は長崎の爆心地から800m程離れた神社で被爆しましたが、短期間でよみがえり人々に生きる希望と勇気をもたらしました。

「国際平和と核兵器廃絶を求める都市宣言」から今年で30年を迎えます。平和で美しい地球を未来に引き継ぐため、平和への意識と共に大切に育てていきます。

wajpへ。10月に説明会を開催予定。



あつぎミュージックフェスティバル オーディションの観覧者を募集

8月20日、14~17時。あつぎ市民交流プラザ。新人シンガー発掘オーディション2次審査の観覧。定員30人。無料。☎不要。先着順。☎文化生涯学習課 ☎225-2508。



本厚木駅連絡所の臨時休業

8月16・17日は駅ビル休館のため、連絡所・観光案内所業務を休業します。☎市民課 ☎225-2110。

児童扶養手当現況届・特別児童扶養手当所得状況届の提出を

届け出は、前年の所得や子どもの養育状況などを確認するものです。受給している方は、必ず届け出てください。提出方法などは対象者に通知。

《期間》児童扶養手当=8月1~

31日、特別児童扶養手当=8月10日~9月12日。☎子育て給付課 ☎225-2241。

戦没者追悼式の自由献花

8月17日、10時30分~12時。市戦没者慰霊堂。戦争の犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに、悲惨な戦争を再び繰り返さないよう恒久平和を祈念します。☎福祉総務課 ☎225-2200。

8月は「道路ふれあい月間」 8月10日は「道の日」

ルールやマナーを守り、道路を美しく安全に使いましょう。損傷などを見つけたら、市民情報提供システム「スマ報」などで連絡をお願いします。☎道路管理課 ☎225-2300。

学習支援・フードパントリー・子ども食堂の実施団体へ費用を補助

子どものつながりの場の提供や生活支援をする団体に費用を補助します。

《対象》①子どもが対象の学習支援、フードパントリー、子ども食堂のいずれかを実施②市内で定期的に開催し1年以上活動を継続予定③参加費が無料または低額(実費相当)④市から他の補助金を受けていない⑤の全てを満たす団体《補助額》年上限10万円(申請月によって補助額が変わる場合があります)。☎子育て支援センターに

ある申請書と必要書類を直接、12月28日までに子育て支援センター ☎225-2922へ。

あつぎマラソンのボランティアを募集

給水所補助や会場整理などのボランティアを募集します。

《日時》10月29日、7~12時《場所》荻野運動公園と周辺道路。☎電話またはファクス、Eメールにて住所、氏名、年齢、電話番号、Tシャツサイズ(S・M・L・XL・2XL)を書き、8月31日までにスポーツ推進課 ☎225-2531・㊚223-0044・✉8850@city.atsugi.kanaga

広げよう 認知症理解の輪

あつぎオレンジフェスタ2023

9月は世界アルツハイマー月間です。認知症を知り、理解を深め、考えるイベントを開催します。

◆講演会とパネルディスカッション

日時 9月16日 14時~15時30分
 場所 あつぎのえいがかんkiki
 定員 100人

■認知症予防ランチ

日時 9月19~22日 11~14時
 場所 本庁舎地下食堂

◆認知症サポーター養成講座

日時 9月23日 10時~11時30分
 場所 あつぎ市民交流プラザ
 定員 60人

◆認知症VR体験会

日時 9月23日 13時30分~15時
 場所 あつぎ市民交流プラザ
 定員 50人

◆管理栄養士による食生活セミナーと笑いの体操

日時 9月23日
 ①10時~②14時~(各回60分)
 場所 あつぎ市民交流プラザ
 定員 各回40人
 いずれも無料。☎☎不要。◆電話またはハガキ、ファクス、Eメールにて住所、氏名、電話番号、講座名を書き、8月1日~9月8日(必着)に〒243-8511地域包括ケア推進課 ☎221-2205・1910@city.atsugi.kanagawa.jpへ。先着順。📄

詳しくはこちら



☎地域包括ケア推進課 ☎225-2047

ホット

インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集中
 厚木市 インターネットモニター 検索

☎広報課 ☎225-2043

7月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆市内出身の作家がいることを知らなかった/70代以上男性 ◆名前は知っていたが、作品は読んでいないので興味を持った/60代男性 ◆省エネ設備の導入は、費用が多くかかるので補助金は助かる/40代男性 ◆がんを克服した後、再び自分らしく生きるために必要な経費の補助があるのは心強く励みになる/40代女性 ◆今年の鮎まつりは、いろいろなイベントが開催されるのでとても楽しみ/40代女性

編集後記

取材で七沢の魅力や観光への思いを聞き、改めて観光地としての七沢の魅力を味わってみたいとなり、週末に夫と日帰り温泉へ。森の散策路を歩き、温泉に浸かり、帰ってからは地酒を楽しみました。ハイキングなどが人気ですが、ゆったりと過ごす七沢もいいものだと思います。たくさんの人に自分が思う七沢の良さを見つけてもらい、魅力が広がってほしいです/平野



ATSUGI JAZZ NIGHT 2023

あつぎジャズナイト

「あつぎジャズナイト」が今年もやってきます。演奏を聴きながら楽しめるフードコートも充実。総勢14組のアーティストによる2日間のステージを楽しみませんか。

☎商業にぎわい課 ☎225-2840

《日時》8月24・25日 16時～
《場所》厚木公園

※会場に駐車場・駐輪場はありません。
公共交通機関を利用してください

♪お店でもJAZZを
《協力店舗》
本厚木キャビン
本厚木ミロード
マッカーサーギャレージ



詳細はこちら



愛TV 8/1～

30周年 自然歳時記

●キュウリの巻きひげ●
ウリ科

キュウリはウリ科の1年草。水分が多くビタミンやミネラルを含む。葉が数枚出ると雄花が咲き、その後雌花が咲く。巻きひげは、らせん形で左右に伸びる／飯山で見つけた。写真／吉田豊治・文／吉田文雄



早朝の爽やかな風が、小さな黄色いキュウリの花を揺らしている。葉の脇から出た巻きひげは絡み付く場所を探し、ふらふらと伸びて支柱に巻き付く。巻きひげは上に伸びる茎を支えるだけでなく、次第に重くなる実をぶら下げても平気なほど大きな力を持っている。巻きひ

げが触角の長いエダナナフシの尻尾を巻いているのを見たことがあった。虫の動きが遅いのか巻きひげの動きが早かったのか、何とも不思議な出来事であった。この夏、自由研究で生き物の観察をしてほしい。それぞれに個性があり面白く、新発見があります。

厚木市の人口 (7月1日現在)

🏠 世帯数 10万4728世帯 (前月比185世帯増) 👤 人口 22万4187人 (前月比70人増) ♂ 男11万5499人 ♀ 女10万8688人